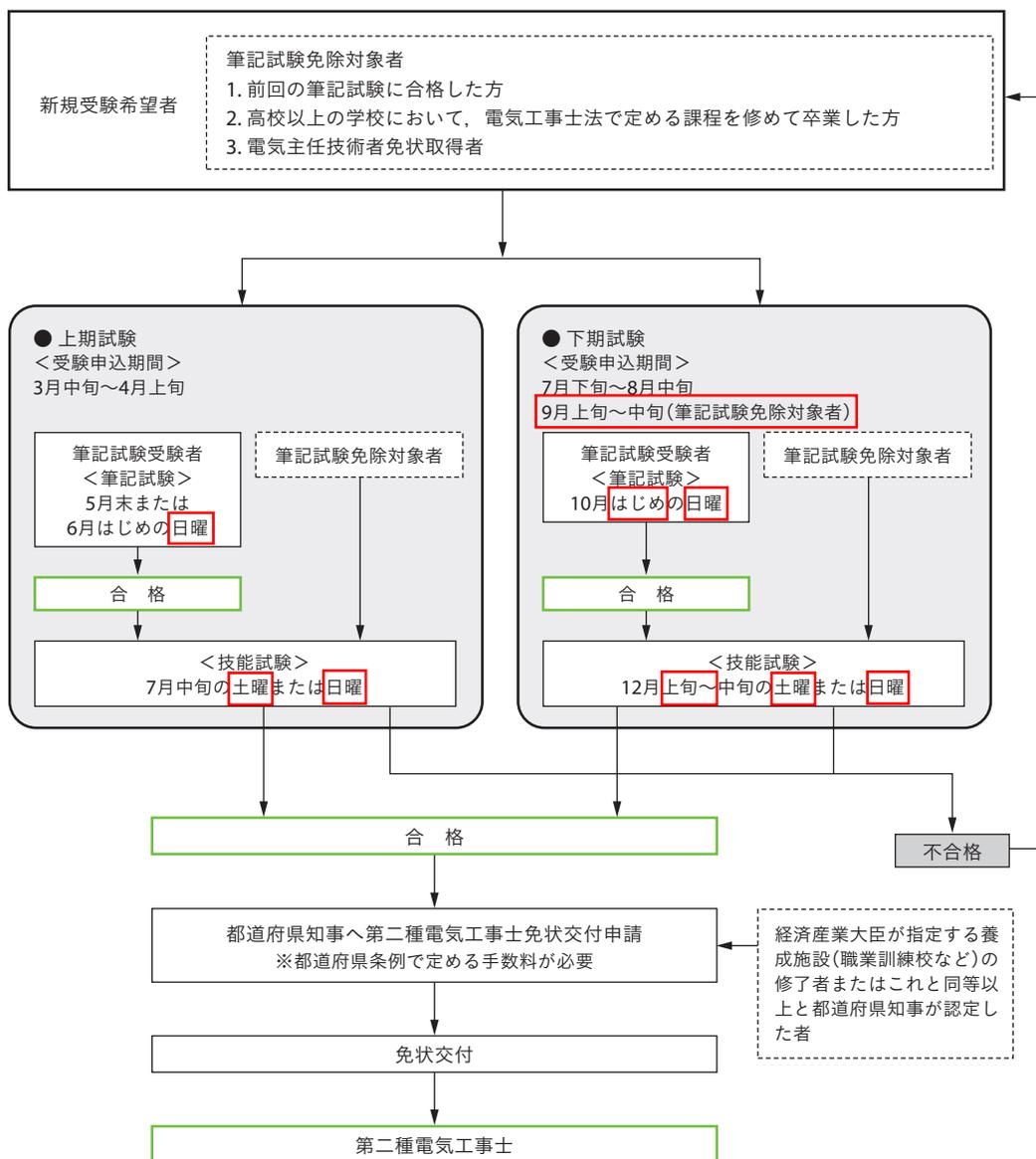


第二種電気工事士 試験ガイド

平成23年度から第二種電気工事士試験の実施方法が変わりました。平成23年度より上期試験と下期試験の年2回実施されるようになりました。また、平成30年度からは上期試験、下期試験の両方を受験することが可能になりました。

本書は、第二種電気工事士試験の「筆記試験」についての対策書ですが、ここでは第二種電気工事士試験全体について説明します。



1. 試験の実施について

● 受験案内・申込書の配布時期

3月上旬頃から試験センターで無料配布されます。

● 受験申込期間

上期試験 3月中旬～4月上旬

下期試験 7月下旬～8月中旬

9月上旬～中旬(筆記試験免除対象者)

● 申込方法

郵便による申込み、及びインターネットによる申込みがあります。

● 試験実施日

筆記試験 上期 5月末または6月はじめの日曜

下期 10月はじめの日曜

技能試験 上期 7月中旬の土曜または日曜(受験地により異なります)

下期 12月上旬～中旬の土曜または日曜(受験地により異なります)

● 受験手数料

9,600円(インターネットによる申込みは、9,300円)

※試験日程等は年度により異なりますので、電気技術者試験センターのホームページ(<https://www.shiken.or.jp>)などで必ず確認してください。

2. 筆記試験

● 出題範囲

科目	範囲
1. 電気に関する基礎理論	①電流、電圧、電力及び電気抵抗 ②導体及び絶縁体 ③交流電気の基礎概念 ④電気回路の計算
2. 配電理論及び配線設計	①配電方式 ②引込線 ③配線
3. 電気機器、配線器具並びに電気工事用の材料及び工具	①電気機器及び配線器具の構造及び性能 ②電気工事用の材料の材質及び用途 ③電気工事用の工具の用途
4. 電気工事の施工方法	①配線工事の方法 ②電気機器及び配線器具の設置工事の方法 ③コード及びキャブタイヤケーブルの取付方法 ④接地工事の方法
5. 一般用電気工作物の検査方法	①点検の方法 ②導通試験の方法 ③絶縁抵抗測定の方法 ④接地抵抗測定の方法 ⑤試験用器具の性能及び使用方法
6. 配線図	配線図の表示事項及び表示方法
7. 一般用電気工作物の保安に関する法令	①電気工事士法、同法施行令、同法施行規則 ②電気設備に関する技術基準を定める省令 ③電気用品安全法、同法施行令、同法施行規則及び電気用品の技術上の基準を定める省令